

寒い冬を乗り越え、梅の花が咲き、こぶしや木蓮の真っ白な花も咲き、桜の花も咲き始めました。きっと、寒い冬を乗り越えたから、花を咲かせることができたのだと思います。

冬を乗り越えて春が来て、卒業式を終えて、そして今日の修了式を迎えて、校長先生の心にも花が咲きました。

みなさんが作成した6年生に向けた「卒業おめでとう!」のメッセージにも花が咲いていましたね。そういえば、階段の壁や水道の窓等、あちこちにたくさんの桜の花が咲いていました。また、枝も見えないほど、めいっぱい花を咲かせている2本の桜の大木もありました。あの花は、みなさんの温かい心を表していると思います。

それから、みなさんが作ってくれた「卒業おめでとう」の映像メッセージ。このメッセージを、卒業式の前に6年生の保護者の皆様にも見ていただきました。

きっと、6年生にみなさんの温かい心が届いたのでしょう。6年生はとても立派な態度で卒業式に臨み、立派に卒業していきました。その様子を見ていましたら、6年生や保護者の皆様の心の中にも、「感動」という名の花が咲いたのではないかと感じました。

そして、6年生が立派に卒業した姿を見た全員の先生方の心にも、花が咲いたのではないかと感じました。

そんな「感動」という名の花を咲かせてくれたのは、まぎれもなく1年生から5年生のみなさんの温かい心です。この放送で、“6年生が立派な態度で卒業していった”ということを知ったみなさんの心にも、「6年生を慕う気持ちが届いてよかった!」という感動の花が咲いたのではないかと思います。

6年生が卒業した後、昨日から5年生が中心となって登校班の班長として下級生を安全に登校させたり、国旗を掲揚したり、また、ストーブを片付けたりと、すでに最上級生としての意識と責任をもって活動していました。他の学年も、進んで廊下を掃除するなど、すでに一学年進級したような気持ちで生活している様子でした。6年生がみなさんに引き継いだ温かい心が発揮されているようで、とってもうれしく、頼もしく思います。

さて、先ほど1年生代表児童から一年を振り返る発表がありました。はじめに「一番がんばったことは漢字の勉強で、2年生の漢字も覚えるのが楽しみだ」という発表がありました。これを聴いて思ったことは、“がんばったから漢字の勉強が楽しくなったのではないか”ということです。だとすると、“楽しみを得るためにはがんばることが必要だ”ということになります。誰でも、“何かに夢中になった”ということがあると思います。何かに夢中になっているというのは、“知らず知らずのうちに、そのことを楽しむためにがんばっている”ということなのだと思います。つまり、楽しみを得るためにはがんばることが必要で、“がんばれば楽しくなる”ということです。言い方を変えれば、“がんばらなければ楽しさを味わえない”ということです。

次に、遠足が楽しかったという発表がありました。4月からは、たぶん、遠足だけでなく、普段の学校生活が、もっと楽しくなるのではないかと思います。

なぜかという、4月からは感染症対策によるマスクの着用が求められなくなるからです。基本的な感染症対策は必要ですが、普段はお友達の笑顔を見て生活できるようになると思います。

思い返せば、今から3年前、突如としてコロナ禍に巻き込まれたまま、3年間が過ぎました。臨時休校が繰り返されたり、感染症対策として「新しい生活様式」の中で学校生活が強いられたり、窮屈な中での学校生活でしたが、みなさんは、いつも明るく、元気に、友達と楽しく学校生活を送っていました。これまでほんとうによくがんばってききましたね。油断はできませんが、やっと感染症の終わりが見えてきたように思います。

このことを伝える文書が配付されますので、家の人と見てください。

令和4年度は今日で終わります。一年間、お世話になった教室ともお別れです。お友達や先生方ともお別れです。自分を支えてくれたお友達に感謝し、お世話になった先生方に感謝し、一年間を締めくくりましょう。

そして、4月からの新年度に向けて、明日からの春休みを大切に過ごしてください。

ほんとうによくがんばりました。みなさんの前には、明るい未来が待っていると信じています。